

10月1日から、ごみ指定袋が有料になります。

対象は「可燃ごみ」と「不燃ごみ」

ごみの現状

現在、地球温暖化、環境破壊など、地球規模での環境問題が深刻化しています。その要因の一つで最も身近なものが、家庭から排出されるごみの問題です。ごみの減量はわたしたちが真剣に取り組まなければならぬ重要な課題です。

市内から排出されるごみは、近隣の2市3町で構成する湖北広域行政事務センターが運営するクリスタルプラザやクリーンセンターでは、年々増加するごみの減量化や資源化を推進するために、古紙や古布の分別収集などに取り組んできました。最近ではプラスチック製容器包装の分別収集が始まっています。この結果、ピーク時の平成13年度に43,884トンあつた可燃ごみ処理量は、平成18年度には

35,725トン(※表1)となり、

ごみの減量に一定の成果をあげています。

しかしながら、家庭から出される総ごみ量は年々微増しているのが現状です。

このような中、ごみの減量化を真剣に考えるため、公募委員、学識経験者、センター構成市町委員等で構成する「ごみ指定袋制度検討委員会」において、ごみ指定袋の見直しについて検討を重ねてきました。2月に開催された湖北広域行政事務センター議会において、ごみ指定袋有料化に関する条例改正案が可決され、今年の10月1日から実施されることになりました。

ごみ指定袋の目的は3つ
①一番の目的はごみの量を減らすことです。
現在、家庭から排出された可燃ごみの中には、リサイクルできる紙類やプラスチック製容器など資源化可能な物が約23%含まれており(※表2)、より一層の排出抑制と再生利用の推進を図る必要があります。

ごみ指定袋を有料化することで、ごみの資源化が徹底され、ごみの量を減らすことが期待されます。
②2つ目に、ごみ指定袋の有料化は、ごみの排出量に応じて費用負担を求めるもので、ごみを多く出す人と少なく出す人との費用負担の公平性を図ることができます。

③3つ目は、センター構成市町の財政負担の軽減があげられます。現在、大袋(45リットル)1袋のごみを処理するのに141円の経費がかかるており、平成18年度の年間処理経費は約12億円(※表3)となっています。その内ごみ燃ごみの中には、リサイクルできる紙類やプラスチック製容器など資源化可能な物が約23%含まれており(※表2)、より一層の排出抑制と再生利用の推進を図る必要があります。

お問い合わせは、湖北広域行政事務センター業務課(☎ 7143)または環境保全課(☎ 6513)へ。

目指せ「ごみの減量」 ごみ家庭で、ごみの減らしはじめましょう。

ごみ減量のポイントは3つのR

- 1つ目 Reuse(リユース)
ものを再使用しましょう
- 2つ目 Reduce(リデュース)
ごみになるものを減らしましょう
- 3つ目 Recycle(リサイクル)
ものを再生利用しましょう



ごみ化されるもの

可燃ごみ
不燃ごみ

ごみ指定袋の販売方法

ごみ化になるごみの種類

今回有料化されるのは、一般家庭ごみの「可燃ごみ」と「不燃ごみ」です。資源ごみと粗大ごみは今までどおり無料で收取します。

ごみは今までどおり無料で收取します。

セトで販売します。現在使用されているごみ指定袋の余り分は、10月1日以降も使用することができます。

ごみ化になるごみの種類

ごみ指定袋を、スーパーやコンビニエンスストアなどの小売店で販売します。1枚あたりの料金は次の表のとおりで、10枚セットで販売します。現在使用されているごみ指定袋の余り分は、10月1日以降も使用することができます。

※ごみの減量が難しい世帯の負担軽減など、現在検討している事項については、決定次第お知らせします。

ごみ指定袋の種類と価格		(1枚当たり 税込み)	
	可燃ごみ	不燃ごみ	
大袋(45リットル)	45円	45円	
中袋(30リットル)	30円	30円	
小袋(20リットル)	20円		

※可燃ごみの小袋と不燃ごみの中袋は新たに設定

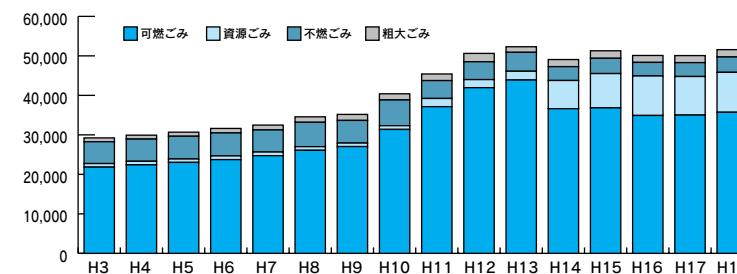
ごみ指定袋の価格設定にあたって

現在、ごみを1kg処理するのに約3.1円の経費がかかっています。このごみ処理原価を基に、指定袋制度検討委員会から出された近隣市町との価格バランスや市民のみなさんの受容限度額等の考え方を考慮し、処理経費の1/3(1kg当たり1円)を負担いただくのが適当であると判断し、価格を設定しました。

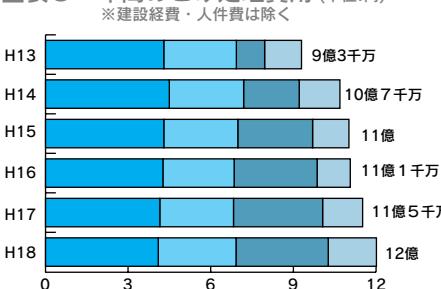
- ごみ指定袋を、スーパーやコンビニエンスストアなどの小売店で販売します。1枚あたりの料金は次の表のとおりで、10枚セットで販売します。現在使用されているごみ指定袋の余り分は、10月1日以降も使用することができます。
- ごみ化になるごみの種類
- ごみ指定袋の販売方法



■表1：ごみ排出量の推移(単位:トン)



■表3：年間のごみ処理費用(単位:円)



■表2：可燃ごみの内訳(%)

